

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	都田川(新川工区)・栃山川流域の浸水被害を軽減する安全・安心な街づくりの推進		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度 (3年間)	交付対象	静岡県
計画の目標			

集中豪雨の多発や新川流域及び栃山川流域の都市化の進展(静岡県地域住宅計画(第2期)に記載されている浜松市・焼津市県営住宅の更新)に伴う被害リスクの増大に対し、河川整備の実施、緊急的に設置が可能な排水ポンプを整備することにより、水害に強い都市を作るとともに、安全安心な市民生活の確保を図る。

計画の成果目標(定量的指標)	①風水害による死者数を0人(毎年)。 ②都田川流域(新川工区)において、概ね50年に1回程度発生すると予想される規模の降雨を安全に流下させるため、河川整備を行うことにより、1/50降雨で浸水する恐れのある戸数を31戸軽減する。 ③栃山川流域において、導流堤:L=35m整備を行うことにより、支川の内水被害および河口部の閉塞を軽減する。		
定量的指標の定義及び算定式			

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
	(H21)		(H24末)							
①風水害による死者数。	0人	-	0人							
②都田川流域(新川工区)において、概ね50年に1回程度発生すると予想される規模の降雨で浸水する恐れのある戸数を軽減する。	31戸	-	0戸							
③栃山川流域において、支川の内水被害及び河口閉塞を軽減するため導流堤:L=35mを整備する。	0m	-	35m							
全体事業費	合計(A+B+C)	238.0百万円	A	230.0百万円	B	0.0百万円	C	8.0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	3.4%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ											
第2期(H20~H24)						第3期(H25~H29)					
分野名	安全・安心					分野名	安全・安心				
目標名	風水害対策の推進					目標名	風水害に強い基盤整備				
指標名	風水害による死者数	目標値(H24)	0人	指標名	一定規模の降雨による洪水に対する安全性が確保された河川の整備率	目標値(H29)	53.8%				

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業																	
A1 基幹事業 ※住宅地地盤特定治水施設整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	進捗状況	備考	
										H22	H23	H24					
1-A1-1	河川	都市	静岡県	直接	-	広域河川2	改修	都田川住宅地地盤特定治水施設整備事業(新川工区)	築堤(L=270m)	浜松市					230.0	△	H29
小計(基幹事業)											230.0						
合計											230.0						

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
										H22	H23	H24				
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
										H22	H23	H24				
1-C-1	活動支援	一般	静岡県	直接	-	活動支援	排水ポンプ整備	排水ポンプ、発動発電機の購入	浜松市、焼津市					8.0	-	市事業で対応
合計											8.0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
1-C-1	基幹事業(A1-1~2)のハード対策と共に、緊急的に設置が可能な排水ポンプの整備により、早期に河川の流下能力不足に起因して発生する浸水被害の軽減を図る。															

その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者		要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考		
									H22	H23	H24						
河川	一般	静岡県	直接	-	広域河川2	改修	栃山川住宅地地盤特定治水施設整備事業	導流堤(L=35m)	焼津市					30.0	○		
		A'		30.0百万円		B'		0.0百万円		C'		0.0百万円		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$		0.0%	

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業
 【H24 予】GのNo.3
 (別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- 河川整備を推進してきた成果として、風水害による死者は出ていない。
- 佐鳴湖北岸の築堤工は完了し、残るは小藪地区のみとなったことから、小藪地区以外の浸水被害軽減を図ることができた。
- 栃山川河口の導流堤整備により、河口閉塞を軽減させ、河川の流下能力が向上し、内水被害の軽減を図ることができた。

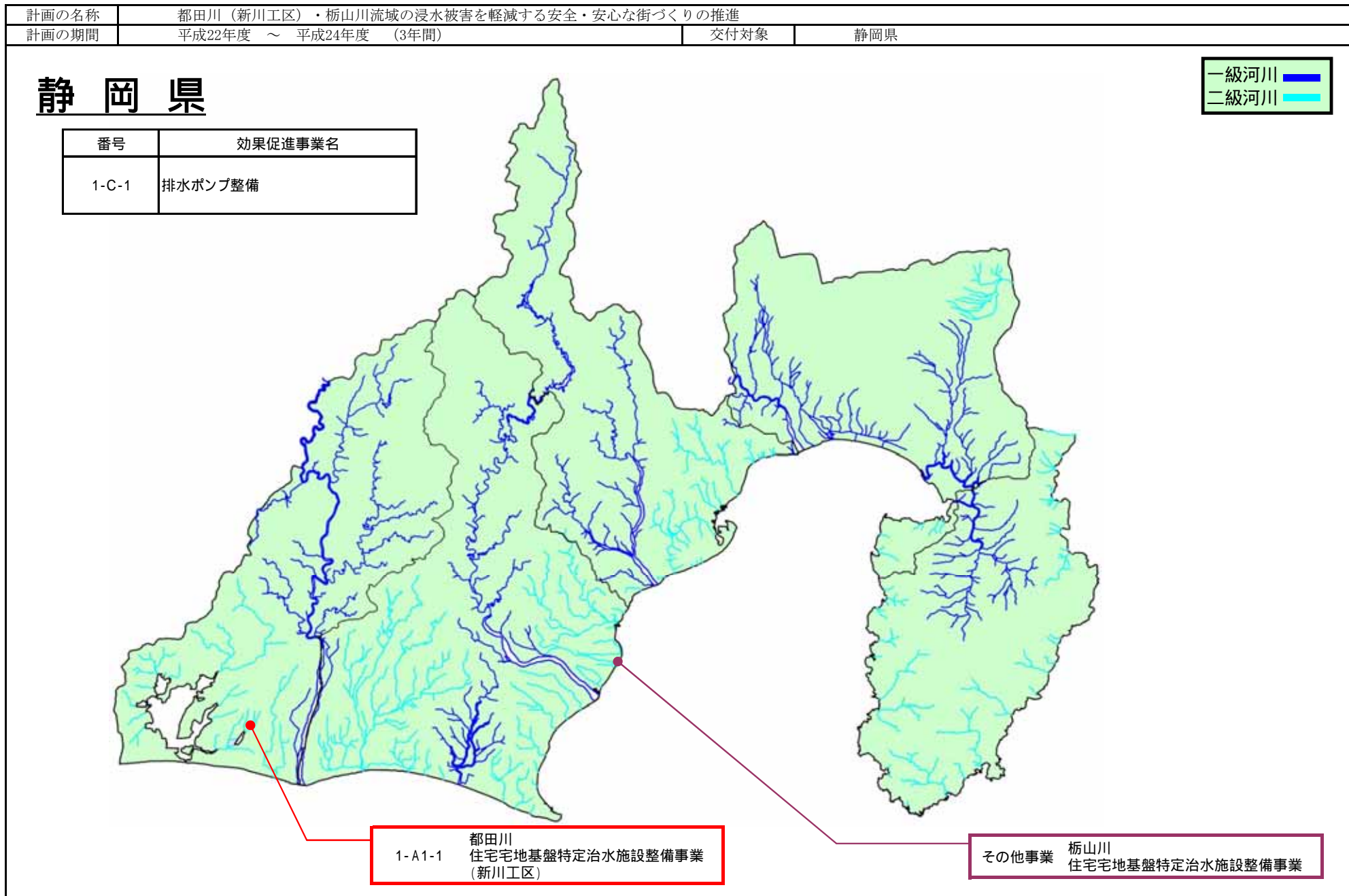
定量的指標の達成状況	指標① (毎年の風水害による死者数)	最終目標値	0 人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	0 人 (100%)		
	指標② (都田川流域(新川工区)において、概ね50年に1回程度発生すると予想される規模の降雨で浸水する恐れのある戸数を軽減する。)	最終目標値	0 戸	目標値と実績値に差が出た要因	○ 小藪地区において、築堤により佐鳴湖の眺望が失われるとの理由で事業に反対する意見が出され、地元は「浸水を許容する地区」としての合意形成を図っている状況のため、築堤工事ができていない。
最終実績値		16 戸 (48%)			
	指標③ (栃山川流域において、支川の内水被害及び河口閉塞を軽減するため導流堤：L=35mを整備する。)	最終目標値	35 m	目標値と実績値に差が出た要因	
最終実績値		35 m (100%)			

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
 (必要に応じて記述)

3. 特記事項 (今後の方針等)

都田川(新川工区)においては、今後も事業の必要性を理解してもらえるよう説明責任を果たし、平成29年度事業完了を目指す。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)



事業効果の発現状況

広域河川改修事業

集中豪雨の多発や流域の都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、河川整備を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安全安心な市民生活を確保することができた。

【事例】 二級河川 栢山川

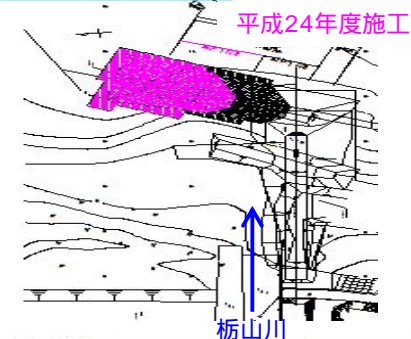


期待される効果

栢山川河口の導流堤整備により河口閉塞を軽減させ、河川の流下能力が向上し、内水被害の軽減を図る。

過去10年における浸水被害状況				
発生年月日	床上	床下	浸水面積(ha)	備考
H13.9.10		4	27	成案寺川
H16.6.30	3	23	18	木屋川・黒石川
H16.10.9	2	28	42	木屋川

改修平面図



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部